

令和 8 年度事業計画書（案）
令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人コネクト・ワン

1 事業実施の方針

「だれにもやさしいまちづくり」を計画に掲げた事業を 1 つ 1 つ実行していく。
また、特例認定 NPO 法人取得によって得られた社会的な信頼を基に、安定した法人運営を目指す。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)予定人数	事業費の 予算額 ※単位：千円
①総合相談事業	<p>・こどもの自立応援事業</p> <p>ア)児童育成支援拠点事業 →放課後や長期休暇期間に支援が必要な児童に対し、安心安全な居場所や食事の提供、学習の支援や課外活動の提供、関係機関との連携や保護者への情報提供及び対象児童への相談支援を行う。</p> <p>イ)ヤングケアラー支援強化事業 →ヤングケアラーコーディネーターが中心となり、支援を必要とするヤングケアラーを早期に把握し、個別支援につなげる。 事例検討会、実践報告など。 →体験型企画の実施 たのスポ・たのキャン・たのクリ。 →教職員へ向けた悉皆研修の開催 →学習支援 毎週水曜日に大学生を講師として、学習支援を実施</p> <p>ウ)支援対象児童等見守り強化事業 →虐待防止に向けて子育て世帯が孤立しないよう支援することを目的とし、支援対象児童等の居宅を訪問するなどし、状況の把握を実施する。</p>	<p>ア) (A) 令和 8 年 4 月 1 日～ (B) 周南市 (C) 15 人</p> <p>イ) (A) 令和 8 年 4 月 1 日～ (B) 周南市 (C) 2 人 (YCC)、大学生 5 人</p> <p>ウ) (A) 令和 8 年 4 月 1 日～ (B) 周南市 (C) 9 人</p>	<p>ア) (D) 周南市のこども (E) 20 人/日</p> <p>イ) (D) 周南市のこども、教職員 (E) こども 250 人、教職員 200 人</p> <p>ウ) (D) 周南市のこども (E) 100 人/年</p>	<p style="text-align: center;">32,200</p>

	<p>・ヤングケアラーケアフルプロジェクト</p> <p>ア) こどもテーブルおりあい →長期休みの毎週水曜日に昼食を一緒に食べる、こどもの食卓をつくるプロジェクト。</p> <p>イ) ふくモニ →長期休みの毎週月曜日に朝食を一緒に食べる。</p>	<p>ア) (A) 毎週(水) 長期休み(水) (B) 周南市(C) 10人 イ) (A) 長期休み毎週(月) (B) 周南市(C) 5人</p>	<p>(D) 周南市のこども (E) 延べ100人</p>	<p>80</p> <p>ア) 50 イ) 30</p>
②地域の福祉力向上事業	<p>・地域を対象とした福祉教育</p> <p>ア) ふくしの寺子屋プロジェクト →子どもの福祉教育</p> <p>イ) ふくしのトランププロジェクト →福祉教材の開発</p> <p>ウ) たのがく祭 →大人の福祉教育、介護人材の創出・定着に向けた取組</p>	<p>ア) (A) 年4回(B) 山口県(C) 10人程度 イ) (A)-(B) 周南圏域(C) 3人程度 ウ) (A) 年1回(B) 山口県(C) 30人</p>	<p>ア) (D) 小・中学生、高校生、大学生(E) 250人 イ) (D)-(E)- ウ) (D) 福祉業界に転職を希望する人、現職、福祉学生(E) 200人</p>	<p>350</p>
	<p>・福祉まちつなぎ講演会・研修会</p> <p>ア) こどもの支援(里親、ヤングケアラーを含む)に関する講演会 イ) こどもの支援(里親、ヤングケアラーを含む)に関する研修会 ウ) 犯罪等被害者支援に関する講演会 エ) メンタルヘルスに関する講演会(共催)</p>	<p>ア) (A) 年1回(B) 山口県(C) 10人程度 イ) (A) 年2回(B) 山口県(C) 5人程度 ウ) (A) 年2回(B) 山口県(C) 5人 エ) (A) 年1回(B) 山口県(C) 10人程度</p>	<p>ア) (D) 山口県内の専門職・地域住民(E) 150人程度 イ) (D) 山口県【宇部・山陽小野田、北浦(萩、長門)圏域】の専門職等(E) 120人 ウ) (D) 山口県内の専門職(E) 60人 エ) (D) 山口県内の専門職(E) 60人</p>	<p>220</p> <p>ア) 200 エ) 0 ウ) 20</p>
	<p>・tanogakuプロジェクト →中学生の部活の地域移行受け皿。 地域の福祉課題へむけてのボランティア活動</p>	<p>(A) 年10回 (B) 山口県 (C) 11人</p>	<p>(D) 周南市内の福の小中高学生 (E) 10人</p>	<p>50</p>
	<p>・ふくもりプロジェクト</p> <p>ア) とくねこカフェ1 →会員同士の交流、ミニ勉強会など イ) とくねこバー →多職種、異業種の交流会 ウ) エコウォーキング →地域住民、専門職の交流の場</p>	<p>ア) (A) 年1回(B) 周南市(C) 3人 イ) (A) 年1回(B) 周南市(C) 10人 ウ) (A) 年2回(B) 周南市(C) 5人</p>	<p>ア) (D) 会員・個人・団体・賛助会員(E) 28人 イ) (D) 周南市内の関係機関、企業など(E) 30人 ウ) (D) 地域住民等(E) 80</p>	<p>48</p> <p>ア) 48</p>
	<p>・ワークロス(若年性認知症、ケアラーのキャリア再構築)の支援</p> <p>ア) 無料職業紹介事業所の開設申請 イ) ワークロス支援に関する研修会 ウ) 若年性認知症カフェ エ) 若者ケアラーワークショッ</p>	<p>ア) (A) 令和8年10月1日～(B) 周南市(C) 5人 イ) (A) 年2回(B) 周南市(C) 5人 ウ) (A) 年4回(B) 周南市(C) 5人 エ) (A) 年6回(B) 周南市</p>	<p>ア) (D) 周南圏域の福祉ニーズを抱えた求職者(E) 20人 イ) (D) 周南市内の関係機関、企業など(E) 30人 ウ) (D) 山口県内</p>	<p>251</p> <p>ア) 10 イ) 131 ウ) 50 エ) 60</p>

	<p>ブ →居場所「コネクト・カフェ」</p>	(C)5人	<p>当事者 (E)20人 エ) (D) 県内の若者 ケアラー (E)5人</p>	
	<p>・ GIKALC (ジカルク) Global Kaigo Local Community →国境を越えた介護人材の地 域密着型のつながり支援</p>	<p>ア) (A)年1回 (B)周南市 (C)3人</p>	<p>ア) (D)周南圏域の 福祉ニーズを 抱えた外国籍 人材 (E)10人</p>	50
	<p>・ 福祉分野国家試験対策講座 →社会福祉士、介護福祉士、介 護支援専門員等の試験対策 講座への協力</p>	<p>(A)週1回 (B)周南市 (C)3人</p>	<p>(D)山口県全域 (E)20人</p>	0
③福祉研究事業	<p>・ 福祉研究 ア) 福祉系大学の学生と共同研 究 イ) 職能団体等との共同研究</p>	<p>ア) (A)年1回(B)周南市 (C)5人程度 イ) (A)年1回(B)山口県 (C)3人程度</p>	<p>ア) (D)福祉系の大 学生 (E)15人程度 イ) (D)職能団体等 (E)4人</p>	10